

大台ヶ原に係る展示等の実施結果

◆奈良まほろば館 大台ヶ原の魅力発信展示会

期間：平成 22 年 8 月 28 日（土）～9 月 2 日（木）

※パネルディスカッションは 8 月 28 日（土）

場所：奈良まほろば館（東京都中央区日本橋）

主催：奈良県地域振興部文化観光局観光振興課

<概要>

奈良県のアンテナショップ「奈良まほろば館」にて、大台ヶ原の魅力を発信する展示会及びパネルディスカッションが開催された。上北山村及び環境省からは大台ヶ原の四季や自然などを紹介した写真パネル、橿原市昆虫館から大台ヶ原の昆虫や植物の標本が展覧された。また、上北山村役場建設産業課 松島主幹、NPO やまと自然と虫の会 日比氏とともに、吉野自然保護官事務所 濱名自然保護官がパネルディスカッション「大台ヶ原を知れば本当の奈良県通～西日本最大のブナ林とその住人たち～」にパネラーとして出席し、大台ヶ原の魅力を発信するとともに利用調整地区制度の普及啓発を行った。



写真-1 展示スペース（左）とパネルディスカッション（右）の様子

◆「生物多様性を考える 大台ヶ原と京都御苑の生きもの展」

期間：平成 22 年 10 月 9 日（土）～10 月 31 日（日）9:00～16:30

※期間中にミニエコツアー、講演会などの特別企画も開催

場所：京都御苑閑院宮邸跡レクチャーホール

主催：近畿地方環境事務所 京都御苑管理事務所

協力：(財) 国民公園協会京都御苑

<概要>

COP10 開催に合わせ、生物多様性への理解を深めていただくことを目的に、近畿地方環境事務所と京都御苑管理事務所が共同で展示イベントを開催した。

大台ヶ原コーナーでは、大台ヶ原に関する解説パネルをはじめ、大台ヶ原に生息する大型哺乳類の頭骨やツキノワグマの剥製、小型哺乳類の剥製標本、昆虫標本などを、大台ヶ原ビジターセンター、橿原市昆虫館、(財)自然環境研究センターのご協力をいただき、展示した。また展示会場では、普及啓発用 DVD「悠久の時を刻む大台ヶ原の魅力と環境保全への取組」を流し、西大台利用調整地区の制度や立入手続きに関する紹介も行った。

展示期間中には、特別企画として講演会「大台ヶ原のコケ植物と生物多様性についてーコケむす森をふたたび」を開催し、吉野自然保護官事務所 濱名自然保護官が吉野熊野国立公園の概要や大台ヶ原の魅力について、森と水の源流館 木村氏がコケ植物からみた大台ヶ原の生物多様性や自然再生についてわかりやすく説明した。

来館者数は約3週間で2,000人を超え、講演会など特別企画も盛況だった。



写真-2 大台ヶ原コーナー（左上・右上・左下）と講演会（右下）の様子

◆小処溪谷もみじ祭り

日程：平成 22 年 11 月 13 日（土）

場所：小処温泉周辺

主催：上北山村地域活性化イベント実行委員会（上北山村商工会・ワーク 21 上北山・上北山村）

<概要>

上北山村小処温泉周辺（吉野熊野国立公園内）において、地域の自然資源である紅葉や溪流に係るウォークイベント、地元物産販売等が行われた。環境省は職員 4 名が参加し、ウォークに同行し自然解説を行った他、会場内ブースにて大台ヶ原のパネル展示、西大台利用調整地区のリーフレット配布を行った。また参加者に大台ヶ原の自然やその魅力についての情報発信、利用調整地区制度の説明を行うなど、普及啓発に努めた。



写真-3 ウォークイベント（左）と会場内ブース（右）の様子